

○発行日：令和7年1月14日(火)
○発行：東京都合気道連盟
〒162-0056
東京都新宿区若松町17番18号
(公財)合気会内
電話：03-6457-3315
FAX：03-6457-3317
e-mail：info@tokyo-aikido.com
https://www.tokyo-aikido.com/
発行人：藤城 清次郎
編集責任者：美濃部 智子

合気道

道主植芝守央

東京都合気道連盟広報



年頭のご挨拶.....	2	加盟団体紹介.....	6
令和6年度 初心者指導法講習会報告.....	2	後援報告 中央区合気道連盟.....	7
令和6年度 東京都合気道演武大会.....	3	江東区合気会創立50周年記念演武大会を迎えて.....	7
第14回国際合気道大会JAF演武の報告.....	4	理事選考委員会の設置.....	7~8
全国合気道指導者研修会報告.....	5	主要行事予定.....	8
全国高等学校合気道連盟演武大会.....	5	編集後記.....	8
新規加盟団体紹介.....	5~6		

年頭のご挨拶



東京都合気道連盟

理事長 藤城 清次郎

謹んで新年のお祝いを申し上げます。
会員・役員の皆様には日頃より東京都合気道連盟の活動、運営にご尽力、ご協力を賜り改めて厚く御礼を申し上げます。

一七四加盟団体の皆様と共に新年を迎えることが出来ました。これも偏に植芝守央合気道道主、合気道本部道場指導部はじめ多くの方々のお陰と深く感謝致しております。

さて、昨年十月には第十四回国際合気道大会が盛大に開催され、翌十一月十六日(土)には東京都合気道演武大会が八十三団体、約八七〇名の皆様にご参加頂き開催されました。演武は、加盟団体の団体演武、各道場推薦に依る個人演武があり、又、大会初の本部道場会員に依る演武、更に大会の締め括りには本部道場指導部の先生方による演武等約三時間に亘り披露されました。

又、ご多忙の中ご臨席頂いた合気会林典夫常務理事はじめ多くのご来賓をお迎えし成功裏に終えることが出来ました。又、大会の

運営には一五〇名を超えるサポートスタッフの皆様には早朝より協力頂き見事な運営をして頂きました。改めて深く感謝申し上げます。

さて、今年度も残すところ三ヶ月となりました。四月には役員改選があり、新役員候補の募集も既に始まっております。四月の評議員会では新役員候補が発表され、新役員が選出される予定です。

さらに当時道場長代行でいらした植芝守央道主が初代理事長として結成された東京都合気道連盟が、創立四十周年を迎えます。現在、四十周年事業に向け準備委員会も起動しており、既に何度も会議を重ねられ本番に向けて力を結集しております。

来る六月十五日(日)には創立四十周年記念演武大会が、十二月十四日(日)には記念の錬成大会及び祝賀会が開催されます。

本年も皆様と共に、合気道を通じ、心と身体との錬成と会員相互交流の場を多く提供したいと思っております。今年が心と記憶に残る創立四十周年の佳き年となりますよう東京都(公財)東京都スポーツ協会、東京都スポーツ文化事業団、(公財)合気会、全日本合気道連盟と共に緊密な連携をとり運営する所存です。

年頭にあたり、皆様のご健勝とご発展をご祈念いたし、合わせて本年も変わらぬご支援、ご指導、ご協力をお願い致します。年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和六年度 初心者指導法講習会報告

令和六年七月二十八日(日)港区スポーツセンター武道場一に於いて、東京都合気道連盟主催による令和六年度東京都合気道連盟初心者指導法講習会が開催されました。講師に森智洋本部道場指導部師範をお招きし、三十三団体五十六名、役員九名が参加しました。



法が異なるように、初心者指導法はこうであるという正解がない。道場ごとの目的に沿った指導法を考えて欲しい」と述べられ、転換を例にした目的別指導法が提示されました。

次に、全習法と分習法について説明がありました。『分習法』について森師範は、「一つの動きを分けて、分けて指導することにより要素ごとに上達することができ、最終的な完成形の意識が薄れることがあるため、最初はその全体像を提示することや、何を行っているか目的の提示も必要である」と述べられました。続いて、『分習法』による転身の動き、受けの動き(後ろ受身・つながりを作る・抑え技受身・前回り受身)、取りの動き(入身投げ・一教・四方投げ・座技呼吸法)をご指導いただきました。

閉会式にて森師範より、「初心者を教える場合は指導者が見本を見せなければならぬ。今日は基本的なことしか行っていないが参考にしていただきたい」と総評を頂き、初心者指導法講習会は無事に終了いたしました。

(記・美濃部)



令和六年度 東京都合気道演武大会



令和六年度東京都合気道演武大会が十一月十六日(土)に東京綾瀬の東京武道館にて開催された。参加は八十四団体、八七〇名に上った。この数年にわたるコロナ禍の記憶に未だ完全には消えない中での開催であったが、昨年の開催に続き、熱意にあふれる合気道家たちが参集した。大会は、寺内定雄東京武道館館長、平田みつよし東京都議会議員、大矢根匠江東区議会議員、林典夫合気会常務理事、山本高英合気会監事、藤谷護人合気会評議員らにご臨席を頂いた。東京都合気道連盟木下悦子副理事長の開会宣言の後、藤城清次郎理事長の主催者挨拶として「来年、東京都合気道は四十周年の節目を迎え、大会を周年行事として盛大に執り行います。本日は皆様に稽古の成果を存分に演武していただき四十周年を迎えるはずみとして頂きたい」との挨拶により始まった。

第一部および第四部は団体演武であり、袴・白帯・色帯と幅広い層が入り混ざっての演武がなされた。それぞれの道場の個性豊かな演武が行われ、実はその特長がよく現れていて、熱のこもった見応えのある演武であった。

第二部は、大会初となる本部道場会員に

よる演武で、日々研鑽している精鋭たちのはつらつとした演武の披露があった。四十名による参加であった。

第三部は各団体の推薦による三十九名に個人演武を披露いただいた。年齢は二十二歳から八十五歳と実に幅広い層による演武であった。最後に、本大会の締めくくりとして、合気道本部道場指導部櫻井寛幸師範、桂田英路師範、鈴木俊雄師範、中村仁美指導員に模範演武をいただいた。技は、立技、座技、短刀取と幅広く、スピーディーかつ力強い技の数々をご披露いただいた。熱意溢れた三時間はあるという間に終わり、大田勤東京都合気道連盟副理事長の閉会宣言のもと、大会は成功裡に終了した。なお演武大会の開催にあたっては、朝八時三十分から東京武道館に各団体から集ってくれた二五〇名を超えるサポートスタッフの協力があつてこそということとを記したい。(記・安藤／写真撮影・笠原泰三)



第14回国際合気道大会JAF演武の報告



第十四回国際合気道大会の講習会と演武会が十月二日から十月六日まで渋谷区代々木にある国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて行われました。

この大会は、四年に一度開催される最大規模の国際行事です。日本はもちろん、世界各国から約千人近くの合気道家が集う大会です。二〇二〇年はコロナ禍の為に開催できませんでした。今回は二〇一六年の群馬県高崎アリーナでの大会以来の八年ぶりの開催となりました。

十月五日午後には、各国代表の演武が披露され、日本からは全日本合気道連盟(JAF)の代表との位置づけで東京都合気道連盟の皆さん四十名が参加し演武をしました。最終日には、植芝守央道主の特別講習会が行われました。そして、その後行われたさよならパーティーでは、次の開催は二〇二八年、合気道開祖植芝盛平翁の生誕地でもある和歌山県田辺市でまた会いましょうと誓いました。

言葉が通じなくても合気道が共通言語になり皆さんが笑顔で稽古しているのが印象的でした。

(記・嶺岸)



全国合気道指導者研修会報告

令和六年十一月一日(三日)、第十二回全国合気道指導者研修会が千葉県勝浦市の日本武道館研修センターで開催された。学校の教職員、北は北海道から南は沖縄まで各都道府県連盟より五十八名が参加した。

東京都合気道連盟からは藤城理事長、大田副理事長、植田の三名が研修を受けた。

初日は開講式に続き、植芝守央道主による講義が行われ、皆熱心に聞き入っていた。その後本部道場指導部金澤師範による中学校授業への合気道導入についての稽古が行われ、礼法、構え、体さばき、後ろ受身、角落とし、小手返し等の指導方法を学んだ。

次に国際武道大学の立木幸敏教授による「外部指導者の心構え」の講義を受けた。外部指導者はあくまでも学校教員による合気



第12回全国合気道指導者研修会

道指導を補助する立場であり、学校側との協調を図ることが重要だと感じた。夕食時には懇親会が行われ、皆リラックスして交流を楽しんだ。

二日目は二手に分かれ、教職員は本部道場指導部梅津師範と中村指導員による実技、都道府県連盟参加者は尾崎全日本合気道連盟理事長による研修を受けた。「学校要請に応えられる指導者の育成」という議題について六班に分かれてグループディスカッションを行い、結果を班ごとに発表した。

指導者の育成には外部指導者としての心構えやハラスメント教育等の講習が必要であるとの意見が多かった。その後は帝京平成大学園部豊准教授による「主体的な学びを促すアプローチ」についての講習を受けた。グループごとに指導役、学習者役、記録者を決め、指導役は自分で考えた動作を学習役に対し三分間で教えるといったもので、動作説明の難しさを感じた。次に「中学校合気道指導法まとめ」の講習を本部道場指導部日野師範より受け、小手返し等の具体的な動きを稽古した。その後は体育教員による模擬授業が行われた。都道府県連盟参加者は生徒役となり、初心者の学生にどのように合気道を教えていくかという授業だった。

三日目は学校授業の事例報告が行われ、高知県日高特別支援学校、葛飾区中川中学校より報告があり、その後閉講式、解散となった。内容の濃い大変有意義な指導者研修会であった。

(記・植田)

全国高等学校合気道連盟演武大会

令和六年八月二日(金)東京武道館において第二十一回全国高等学校合気道連盟演武大会が開催されました。荒川合気会の高橋生四名、成立学園中学高等学校合気道部の八名と一緒に参加しました。東京都合気道連盟所属道場からは他に合気道三心会二名、合気道新川塾四名、東村山市合気道会二名の高校生も参加しました。毎回高校生たちの一生懸命な演武に感動しますが、この日の為にどれだけ稽古を重ねてきたのかと思える演武を今年も見ることができ、やはり今回も感動しました。初参加の高校生にはとても刺激になったようで、大会以降稽古に対する心構えが違ってきているように思います。普段接することのない他校や他道場の同年代の演武を見ることが、稽古をすることの影響は、指導者が百回注意するより大きいのだと改めて感じました。高校生達が帰り際に「楽しかった！また来年も出たいです」と笑顔で口々に言ってくれたのが何より嬉しく、一日の疲れが飛んでいく思いで大会は無事に終了しました。(記・植田)



新規加盟団体紹介

駿台合気道会

代表 荒井 清

この度は東京都合気道連盟への加盟をご承認いただき、ありがとうございます。

当会は明治大学体育会合気道部のOB・OGが会員となっています。明治大学体育会合気道部は昭和三十三年に小林保雄先生によつて創部され、卒部生五百名を超える多くの卒業生が稽古に励んできました。卒業後合気道を続けているOB・OGが八十歳代から二十歳代まで幅広い世代の卒業生が世代を超えて学生時代と同じ気持ちで稽古をしています。明治大学の二百畳の道場で現役の稽古時間に合わせ活動しています。

今後は東京都合気道連盟の加盟団体として更に活動の幅を広げ、合同稽古や講習会など、他団体との交流を積極的に図っていくことを考えております。

会員一同、合気道の普及と技術向上を目指し、日々精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。





新規加盟団体紹介

武産合気誠流会

会長 先山隆久

今年、新しく入会させて戴きました「武産合気誠流会」です。武産合気誠流会は今年の三月末に解散しました「武産合気龍山会」の稽古生が集まって四月に発足しました。武産合気龍山会は天野成子師範と篠征勝先生が創られた会ですが、両先生の勇退に伴って解散されました。両先生は岩間の初代齊藤守弘先生に師事され、体術や武器技を指導されてこられました。



武産合気誠流会はこの流れを汲む会で、審査技にも必ず武器技があり、劍杖等の武器技を通して、体の使い方、研鑽するとともに体を育てています。会員は小学生から年齢を重ねた方まで、幅広い年齢層です。体を自由に使い、全体を効率良く使う使い方、合気道の日々の稽古を続けながら修得したいと私たちは思っております。

合気道探究会 (Thank You Kai)

代表 西浦克卓

この度、東京都合気道連盟に加盟させて頂きました合気道探究会と申します。本会の発足は、丁度、コロナが蔓延し、体育館での稽古が困難となったため、有志と練馬区内の公園で青空稽古を開始した二〇二〇年四月に遡ります。当時は投げるのではなく、さばきを中心に稽古していましたが、現在も投げることもよりそこに至るくずしを重視した稽古を行っています。



当会は、一般の方ももちろんですが、防衛省OB等の受け皿的な役目も果たしています。また、代表の幅広い交友関係の場においてもリクルート活動(新人募集)を行っており、そのようなこともあり、いろいろな経歴の方が一緒に楽しく、汗を流しています。現在は、練馬区平和台体育館で稽古を行っています。今後ともよろしくお願いたします。

加盟団体紹介

東京消防庁合気道部会

部長 浅見 利男

本会は、東京消防庁の職員からなる社会人のクラブです。都内八十一の消防署からなる東京消防庁は、二十四時間体制で都民の安全安心の為に誰かが勤務しています。このため、稽古や行事においても部員全員が揃うことはありません。心身の錬成、健康の増進、体力錬成等を目的に、地道に稽古を続けています。本会の設立は昭和四十四年四月です。設立から五十五年となります。先般五十年の記念式典として演武大会と祝賀会を実施したばかりですが、次の六十周年を目指して頑張っています。



始める人がほとんどです。数年前の新型コロナウイルスがあり、本会も三年間に亘り活動が出来ませんでした。この影響もあり、稽古を再開したのはベテランばかり、部員の高齢化が進んだ感じですが。稽古では準備運動を入念に行い怪我の防止を図っています。体術は基本技を中心に、単独基本動作や剣・杖なども行い技に幅を持たせています。

合気道ふれあい塾

主宰 石橋 良一

合気道ふれあい塾は平成十年に本部道場師範 安野正敏先生を顧問にお迎えして開塾し、昨年創立二十五周年を迎えました。二十五周年を記念して開催した稽古会には、国内外多数の交流道場の方々がご参加くださいました。



普段は初心者から六段位まで十名程度の塾生が、毎週土曜日に品川区立戸越体育館の四十五畳の柔道場で稽古をしています。武道・武術にはふれあった瞬間に勝負が決まる、言い換えればふれあった瞬間に「相手の動きを制する・相手の重心を崩す」という厳しさがあります。そういった理念、精神性、そして具体性を表し目指す、それが合気道ふれあい塾の名前の由来です。今後も自律自省を忘れず、武道としての業の利合を正しく知り、捉える姿勢を崩すことなく稽古に励む所存です。

後援報告 中央区合気道連盟

中央区合気道連盟のこの秋、令和六年の活動報告をさせていただきます。

去る九月八日(日)、中央区秋季区民体育大会の一環として、日本橋浜町の中央区総合スポーツセンター武道場にて、第五十四回中央区合気道連盟演武大会を開催いたしました。当会とかねてより友好関係にある十一協賛団体から七十四名の方々にご参加いただき、中央区からは子供たちを含む四十八名、総勢百二十二名が参加いたしました。

各団体とも、それぞれの道場のカラーを出して、日頃の成果を披露してくださいました。各道場の方々の演武を拝見しおりますと、普段自分たちではやらないような技も繰り出されたりして、大変勉強になりました。このように演武会とはお互い大いに刺激を受け、今後の稽古に参考にもなり、改めてよい機会だと感じました。

最後になりましたが、本大会には貴東京都合気道連盟のご後援を賜り、誠にありがとうございました。

今後とも中央区合気道連盟として各行事等に貢献できるよう精進してまいります。改めて御礼申し上げます。(記・中央区合気会 武藤重紀子)



江東区合気会創立五十周年記念演武大会を迎えて

令和六年十一月十七日(日)江東区合気会は創立五十周年を迎えて、この日江東区深川スポーツセンターにおいて、東京都合気道連盟後援による記念演武大会・講習会を開催した。

当日は各地域から二十団体以上の参加で、百五十名を超える人数であった。

大会は午後三時から開催され、小林正明会長の「今日江東区合気会は創立五十周年を迎え、感無量であります。この五十年を一つの区切りとして、やっと合気道の出発点に立てた心境であります。」という挨拶で始まり、続いて本部道場師範でもあり、当会の師範でもある遠藤征四郎師範から「昨今、創立五十周年、六十周年を迎える団体が多く見受けられます。そのような中で、合気道は技の稽古と心の交流・体の触れ合いから気持ち結び合う稽古を求めていきたい。」とご挨拶があり、次いで東京都合気道連盟の藤城清次郎理事

長より「創立五十周年記念演武大会開催誠にありがとうございます。五十年という長い歴史の中にはいろいろな困難があったと推察致します。それを乗り越えられて来たのは遠藤師範のご指導の下、会長を中心に歴代の役員の皆様が確り運営されてきた賜物であると思います。」とご挨拶があった。

その後演武に入り、先ず江東区合気会会員(前半部)による演武、続いて招待団体二十団体による賛助演武、再び当会会員(後半部)による演武、最後に遠藤征四郎師範による総合説明演武で十五時過ぎに終了した。

記念撮影後、十五時二十分から十六時三十分まで遠藤師範による講習会が開催された。

十七時三十分からは、地下鉄「門前仲町駅」近くの「東天紅」において祝賀会が催された。百名を超える出席者で、各団体の代表者による挨拶と自分の会の創立の苦労話等穏やかな雰囲気終了した。

(記・江東区合気会 小林正明)



理事選考委員会の設置

理事選考委員会の設置にあたっては「東京都合気道連盟理事候補者選考に関する細則」に則り、昨年八月二十日に加盟団体宛て理事選考委員を募集したところ五名の推薦がありました。同年十月二十一日の理事会において次期理事候補者を令和七年四月の評議員会に諮るための理事選考委員会設置の提案がなされ、加盟団体より推薦された五名の中から四名及び理事会より推薦された六名の計十名が、理事選考委員として理事会の承認を得ました。

【理事選考委員】

- 藤城清次郎 都連理事長
- 大田 勤 都連副理事長
- 神谷 正一 都連副理事長
- 美濃部智子 都連理事
- 井阪 有一 都連理事
- 大橋 健司 都連理事
- 安威恒太郎 荻窪合気道同好会代表
- 鈴木 純二 北区合気倶楽部副代表
- 高浜 光信 武蔵府中合気道同好会代表
- 北浦 昇 江戸川区合気道連盟江戸川合気会理事

第一回理事選考委員会

第一回理事選考委員会が令和六年十月二十八日に開催され、藤城理事長より、理事選考委員会の趣旨説明と委員就任の謝辞が述べられ、委員自己紹介後、左記の議題について意見交換と理事選考委員委嘱状の交付が行なわれました。

【議題】

- ・委員長、副委員長及び事務局長を選出
- ・理事候補者募集について再確認

前ページから

・次回開催日 令和七年一月二十日

理事候補者選考に関する細則第二条第五項に基づき委員長、副委員長は互選により選出し、また事務局長を選出。

委員長 藤城清次郎 都連理事長
副委員長 神谷 正一 都連副理事長
事務局長 大橋 健司 都連理事

理事候補者の募集

令和六年十一月二十九日付け、加盟団体宛てに「当連盟理事の任期満了に伴う理事候補者の推薦について」を发出し、左記のとおり理事候補者を募集しました。今後は「理事候補者の選任スケジュール」に沿って進められ、令和七年四月の評議員会の決議を経て次期理事及び監事が選任されます。

【理事候補者の募集内容】

・人数…十名以上十六名以内
・任期…令和七年四月の評議員会後から令和十年四月の評議員会開催まで

【理事候補者の募集期間】

・令和六年十一月二十九日(金)から令和七年一月十一日(土)まで

(※)役員の構成と役割、理事候補者の選任スケジュール等について詳しくは、都連ホームページをご覧ください。

URL : <https://www.tokyo-aikido.com/>

rjikoohoshasuisen/



主 要 行 事 予 定

東京都合気道連盟主催行事

令和六年度少年部指導法講習会

◇期日…令和七年二月二十三日(日)
◇講師…日野 皓正 本部道場指導部師範
◇場所…港区スポーツセンター

第四十一回評議員会

◇期日…令和七年四月十九日(土)
◇場所…日本教育会館

東京都合気道連盟創立四十周年記念

令和七年度東京都合気道演武大会

◇期日…令和七年六月十五日(日)
◇場所…東京武道館

東京都合気道連盟創立四十周年記念

令和七年度東京都合気道錬成大会

◇期日…令和七年十二月十四日(日)
◇場所…東京武道館

東京都合気道連盟創立四十周年記念祝賀会

◇期日…令和七年十二月十四日(日)
◇場所…アートホテル日暮里ラングウッド

(公財) 合気会主催行事

第六十二回 全日本合気道演武大会

◇期日…令和七年五月二十四日(土)
◇場所…日本武道館



(公財) 日本武道館主催行事

令和七年度全日本少女合気道錬成大会

◇期日…令和七年七月二十日(日)
◇場所…東京武道館

(公財) 東京武道館主催行事

令和六年度第五回広域合同稽古

◇期日…令和七年一月十六日(木)
◇講師…梅津翔 本部道場指導部師範
◇場所…東京武道館

令和六年度第六回広域合同稽古

◇期日…令和七年三月十三日(木)
◇講師…日野 皓正 本部道場指導部師範
◇場所…東京武道館

編 集 後 記

輝かしい新春を迎え、皆様におかれましては、さわやかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は第十四回 国際合気道大会が開催され、多くの道友と汗を流された方も多く存じます。

令和七年は当連盟創立四十周年を迎えます。記念行事の計画も進んでおり、紙面で皆様へご報告をさせていただきたく思っております。今年もよろしくお願いたします。

(記・美濃部)



東京都合気道連盟

〒162-0056 東京都新宿区若松町17番18号 (公財)合気会内

電 話 03-6457-3315

F A X 03-6457-3317

E-mail: info@tokyo-aikido.com

<https://www.tokyo-aikido.com/>

